



行政書士試験対策講座

Web通信

対面

オンライン(同時双方向)

オンライン
オンデマンド

頼れる「街の法律家」を目指す。

【行政書士とは?】

行政書士は、行政書士法に基づく国家資格者で、役所に提出する許認可等の申請書類の作成と提出手続の代理をする等、いわば国民と行政をつなぐ役割を担っている法律専門家です。

業務の範囲は非常に多岐にわたり、建設業許可、開発許可関係や会社設立等の際の申請書類の作成と提出手続代理の他に、遺言の作成、相談、執行や内容証明書の作成等、私たちの身近な生活に関連している仕事も多くあります。最近ではいわゆる代書業務から、複雑多様なコンサルティングを含む許認可手続きの業務へと、その業務内容が変化しており、高度情報通信社会における行政手続きの専門家として期待されている職業です。

【講座概要・特色】

初めて行政書士試験を学習する方でも、合格に必要な十分な知識を効率よく習得することができるカリキュラムです。2021年11月実施の本試験合格を目指します。

本講座は、Web通信講座となります。テキスト・問題集・答練(実力テスト)・模試などの教材はご自宅にお送りし、ご自身の学習スケジュールに沿って、Web講義を視聴しながら学習を進めて頂きます。(答案は「郵送提出→採点結果返却」の流れです。)

Web講義は受講期間中、繰り返し何度でも視聴できます。各自の苦手不得意科目を中心にメリハリの利いた効率的な学習が可能です。

募集締切 4月30日(金) ※4月随時開講(配信の開始) 受講料 在学・卒業生：91,000円/一般：101,000円(教材費を含む)

注意
事項

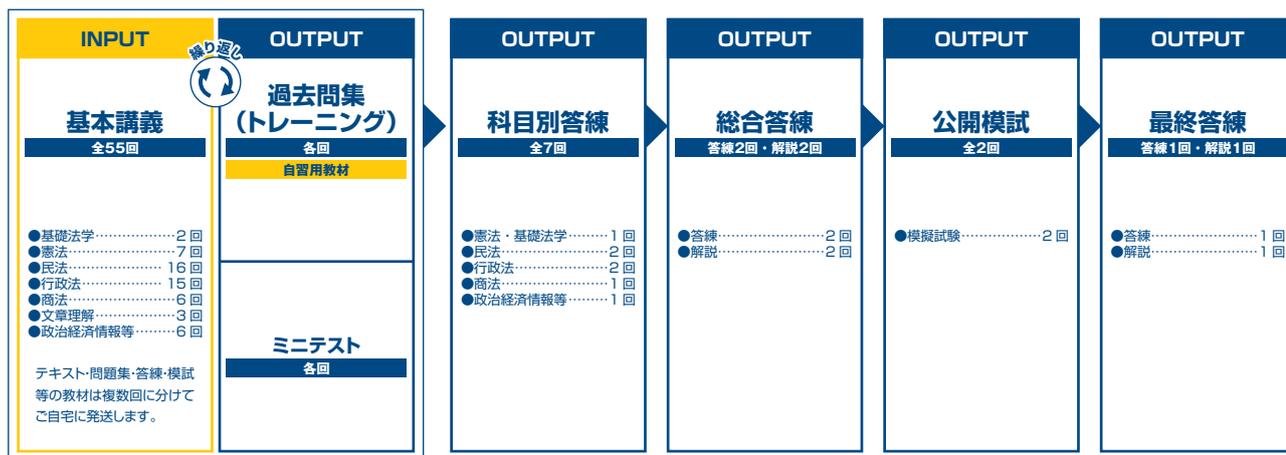
1. 開講(配信の開始)は2021年4月上旬となります。IDの有効期限は2021年11月末までです。
2. 3月中にお申込みの方は、4月上旬に一斉受講開始となります。4月以降にお申込みの方は、申込日の約1週間後に教材が発送される予定です。
3. 募集締切後、5月以降申込みを希望の方は、教務機構事務部へご相談ください。
4. パソコンの動作環境については、実際に利用するパソコンからTAC WEB SCHOOL(<https://portal.tac-school.co.jp/>)にアクセスし、[TAC WEB SCHOOL動作環境のご確認]ボタンから開く、動作環境チェッカーページで確認してください。
5. インターネットの接続環境は受講者自身で準備する必要があります。また、インターネット回線に関わる費用については自己負担です。

【カリキュラム・スケジュール】

基礎期(学習ベース目安: 2021年4月~2021年9月)

応用・直前期(学習ベース目安: 2021年9月~)

11月



行政書士本試験

【行政書士試験の概要】

- 【受験資格】… 年齢・学歴・国籍等に関係なく、誰でも受験することができます。
- 【試験日程】… 毎年1回、11月第2日曜日、午後1時から午後4時まで(3時間)。
- 【受験手数料】… 7,000円(2020年度)本講座受講料に受験手数料は含まれません。
- 【試験出題数】… 行政書士の業務に関し必要な法令等46問(記述式含む)
行政書士の業務に関連する一般知識等14問
- 【試験科目】… ●法令等【憲法・行政法(行政法の一般的な法理論、行政手続法、行政不服審査法、行政事件訴訟法、国家賠償法及び地方自治法を中心とする)・民法・商法・基礎法学】
●一般知識等【政治・経済・社会・情報通信・個人情報保護・文章理解】

参考 一般財団法人 行政書士試験研究センター
<https://gyosei-shiken.or.jp/>



年度	受験者数	合格者数	合格率
2015	44,366名	5,820名	13.1%
2016	41,053名	4,084名	9.9%
2017	40,449名	6,360名	15.7%
2018	39,105名	4,968名	12.7%
2019	39,821名	4,571名	11.5%